



どうしてサドルの高さが3ポジションあるのでしょうか？

Command Post BlackLiteに3つの一貫した、そして最も重要なこと、である繰り返し使用に適したサドルハイトポジションを設定しました。これは、上りや下りで最適なライディングポジションへのすばやい切り替えを必要とするライダーやレーサーにはきわめて重要です。ライダーがテクニカルな地形を攻めるときに、サドルの高さ調整に時間をかけるわけにはいきません。3つのポジションは以下のとおりです。

**最大長(パワーポジション)：**このポジションに設定すると、ライダーは脚力を最大限引き出すことができます。上りのときと同じように、パワーや十分な脚の伸びが必要なトレールコンディションのときに、このポジションを選択します。

**中間長(クルーザーポジション)：**よりテクニカルなトレールコンディションのときに、パワーだけでなく乗り易さによって効率が上がります。クルーザーポジションでは、重心の位置が下がってハンドリングが改善される一方で大きなパワーをかけることも可能になり、両方の長所を最大限引き出すことができます。

**最小長(ディセNDERポジション)：**このポジションは、非常に険しい地形で最大限のコントロールが必要な場合に、極めて低くて乗り易いポジションにするためにサドルを下げてライダーを補助するようにデザインされています。

どうしてサイズに125 mm、100 mm、75 mm、30.9 & 31.6があるのですか？

ライディングスタイルはマウンテンバイクに乗る人によってさまざまです。重心を下げたいライダーにはアジャスタブルストローク125mmが適します。アジャスタブルシートポストが欲しいけれども重さが気になるという人には75mm BlackLiteが用意されています(身長がそれほど高くない方にも最適)。そして無難な選択を好む方には100mmも用意されています。径はすべてのサイズで30.9mmと31.6mmが設定されています。

テクニカルデータ

- BlackLite Command Postは従来モデルより100g軽量
- 軽量化とシートポストへの固定力を強化するために接着ヘッドを採用
- バイクとライダーのサイズに合わせて3つの仕様  
(75: 0/25/75mm、100:0/35/100 mm、125:0/35/125mm)
- モデル長: 沈み0/沈み中間/沈み最大)のドロップサイズを設定
- シートポストの径は30.9mm
- セットアップと取り外しが簡単なクイックリリースエンゲージメントケーブルをシートポストヘッドに採用



COMMAND POST  
BLACKLITE

# SPECIALIZED COMMAND POST BLACKLITE

トレイルを制するすべてのライダーへ贈る  
最良のアジャスタブルシートポスト

アジャスタブルシートポストは、下り同様上りでもハードな走りを求める今日のマウンテンバイカーのために設計されました。SPECIALIZEDのCommand Post(コマンドポスト)はエンデューロマウンテンバイク全モデルに装備されてデビュー、“オンザフライ”(サドル高さ調整機構)によってクロスカンтриーからアグレッシブなグラビティーライダーまですべての皆様に完璧なライディングポジションを提供しています。まったく新しいCommand Post BlackLite(コマンドポストブラックライト)は、ボタンを押すだけでさらに楽しく、安全で快適なライディングをもたらします。

SPECIALIZEDのサスペンションテクノロジー責任者であるマイク“ミック”マクアンドリューが、世界最高のモトクロスやマウンテンバイクチームとの仕事をとおして得た30年におよぶサスペンション開発技術に基づいて、オンザフライ・アジャスタブルシートポストプロジェクトの指揮をとりました。

すき間を埋める

「私はマウンテンバイクプロダクトマネージャーのブランドン・スローンと一緒に、約5年前からいくつかの異なるテレスコピックシートポストを使用してライディングを始めました。」とマクアンドリューは説明します。「最初のテストでは、当時人気のあった油圧式と機械式の両方をテストしました。結果として油圧式は信頼性に問題があり、一方、機械式は重くて見た目も良くありませんでした。そこでもっとすぐれたアジャスタブルシートポストを作ろうということになったのです — それに対する回答がこのCommand Postです。」



サスペンション技術責任者マイク“ミック”マクアンドリュー



機械式 VS 油圧式

「オンザフライ・アジャスタブルシートポストは、ある種のスプリング機構を使用してシートを希望の高さにするという点では他のタイプとまったく同じです。しかしこのスプリング機構はサドルの高さを維持するためのものではありません。なぜなら、もしこれがサドルの高さを維持できるということになれば、それはサスペンション付シートポストということになります。ショックアブソーバーではスプリングは減衰させるためのものではなく、サドルの高さを維持する役割をもつからです。減衰(油圧による)とは動きを抑える作用です。一部の競合他社の“ドロップバー”シートポストもエアスプリングを使用してサドルを上昇させますが、サドルの高さを維持するのは油圧です。このデザインの問題点は、シートポストシャフトがオイルに浸かっているため、常に圧力がかかることにあります。オイルは圧縮できないので、圧力を開放するため特にリングの突出や脱落によってサドルの高さが一定しない、という不具合が生じやすくなります。」



接着式のヘッドにより軽量化を実現

新型のクイックリリースワイヤー機構で  
解除が速く、かんたんに

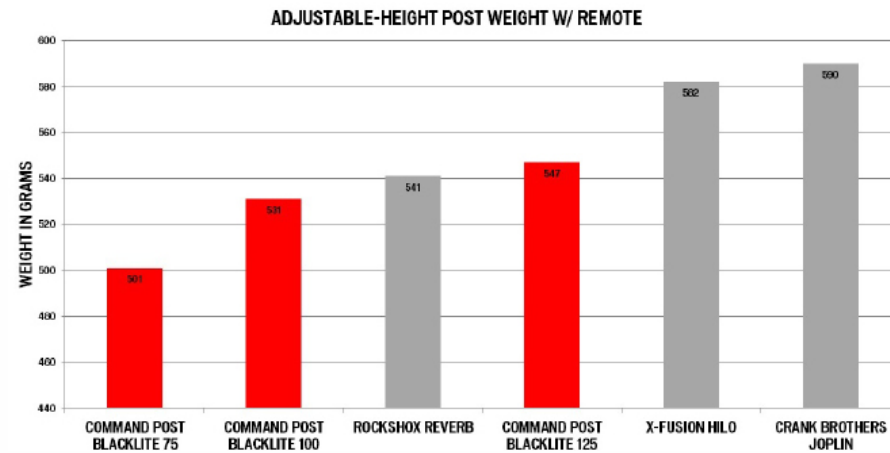


メカニカルロック機構

デュアルリップX リングシールが  
リターンズプリングからの漏れを防止

左右のあそびがない  
デュアルキーウェイ機構

調整可能なエア式リターンズプリング



ヘッド部分の内部機構

COMMAND POSTは誰を対象としていますか？

「この質問の答えは簡単です—マウンテンバイカーです。もともとアジャスタブルシートポストは一般にダウンヒル用アクセサリと考えられていました。また急な傾斜地を乗らない人には必要のないものでした。高度がどんどん変化する地形(長い下りだけでなく)を走行するときにはCommand Postが真価を発揮します。ライダーたちはCommand Postを使い始めると、常にあらゆるバイクで使用したくなるでしょう。」

「SPECIALIZED独自のCommand PostがBlackLiteの原型になっており、基本コンセプトは同じです。ブッシュやシール、そして多くのCommand Postのメリットがメカニカルロック機構に組み込まれています。また外観も見直し、素材を省いてシートポストヘッドを接着することで軽量化も実現しました。」